

Kビジョン放送番組審議会（2018 年 10 月 4 日）

放送番組審議会(第 21 期第 1 回会合)では、『豪雨災害生中継』、『タウンニュース～特集・豪雨災害を振り返る』、

『Kビジョンスペシャル～夏だ！まつりだ！2018(後編)』を合評しました。

<合評番組>

■豪雨災害生中継（10 分）

2018 年 7 月 7 日(土) 11:45 放送

7 月 6 日から 7 日にかけて発生した「西日本豪雨災害」で被災した弊社サービスエリア(下松市、光市、周南市熊毛地区)や避難所の状況取材し、2 回の生放送を実施しました。11 時 45 分に放送した番組を視聴していただき、土砂崩れが起きた JR 山陽線 下松～光駅間の様子を VTR で紹介したり、島田川の氾濫で浸水被害のあった光市三井地区の避難所と中継を結び、避難者に話を聞いたりしました

■タウンニュース～特集・豪雨災害を振り返る（8 分）

2018 年 8 月 28 日(火)放送

「タウンニュース」では、西日本豪雨災害から約 2 か月が経過して被災地の現状と課題について検証する特集を 3 回シリーズで放送しました。視聴していただいたのは、災害による道路の寸断で集落が孤立状態となった下松市笠戸島深浦地区の回で、行政と住民との橋渡し役を務めた公民館長取材しました

■Kビジョンスペシャル～夏だ！まつりだ！2018～みんなで踊ろう盆踊り【後編】（1 時間 3 分）

2018 年 8 月 27 日(月)～31 日(金)放送

Kビジョンでは毎年、エリア内各地の夏まつりや盆踊りを取材し、Kビジョンスペシャルでその様子を放送しています。番組では毎回、テーマを決めて地域の趣向を凝らしたまつりの楽しさも紹介しています。ことしは地域で大切に踊り継がれている「盆踊り」にスポットを当て、音楽に合わせて地域の人たちが躍る様子や名所の映像に歌詞を加えたプロモーションビデオ風の映像を制作しました。視聴していただいたのは後編として放送した光市、平生町、上関町のまつりです

<合評内容>

■豪雨災害生中継

- ・災害時の報道や現場の状況などをリアルタイムで出すことはとても重要なことであり、番組ではその重要性が生かされていると感じる。国道 188 号線の土砂崩れの説明や、映像による情報量の多さは、災害に対して気を付ける方法を考える指針になっている。
- ・中継部分の周辺の雑音が大きく、肝心のレポートやインタビューの声が聞き取りにくいのが残念だった。
- ・レポートを通して身近な人の声を聞くことで、万が一、自分が災害の状況に置かれたときにどうするかを考えるきっかけとなった。
- ・レポートや災害現場など他市町の視聴者には、位置関係が把握しにくい。地図を入れて客観的な位置関係が分かるようにしてほしい。
- ・避難場所が変更になったことなどを番組で紹介した点はよかったが、避難所周辺地域の海拔や高度に関する情報も合わせて紹介してもらえると、より理解しやすい。等のご意見をいただきました。

■タウンニュース～特集・豪雨災害を振り返る

- ・番組を通して笠戸地区の住民の団結力の強さを感じた。自分たちが被災した時に参考にできると感じた。
- ・報道番組として適切に素材が集められているし、人に軸足を置いた取材してコンセプトがうまくまとめられている。番組の最後に災害時の対応のポイントを字幕で紹介していて分かりやすかった。
- ・公民館の職員が情報を紙面にまとめて、各家庭に届けた行動の高さに感心した。どのようにして配ったのかなどを紹介すると他の地域にも参考になる。また、時間をおいて続編として取材、放送があるとよい。
- ・事実を伝えると同時に、被災からその後にまで視点を広げると、地域密着のメディアとして次の広がりも出ると思う。等のご意見をいただきました。

■Kビジョンスペシャル～夏だ！まつりだ！2018

- ・番組を見て、各地でさまざまな特色を持った祭りや盆踊りがあることを知った。他地域の祭りを見ることで、自分たちの地域の祭りについて学ぶことができる。番組を発展させて、今後の自分たちの地域をどうすればよいか考えるきっかけになる番組を作ってもらいたい。
 - ・各地の盆踊りをプロモーションビデオ風に編集していて、参考になった。
 - ・子どもへのインタビューもざっくばらんに聞いている様子が表れていて、地域のテレビ局として親しみがわく。
 - ・ことは大雨被害の影響で中止となった催しも多い中で、各地で行われる夏祭りの数の多さに驚いた。年配の人たちを中心に祭りに取り組み、若い人たちが受け継いでいく様子が感じられた。
 - ・放送エリアが広く、必然的に取り上げる祭りの数も多くなるが、どの地域もほぼ均等な時間で紹介していて好感が持てる。同時にどの祭りも開催日・参加人数・踊りの曲目などをきちんと紹介していて、きめの細かさを感じる。参加者が祭りを楽しんでいる様子が映像から感じることができる。
 - ・年配者から子どもまで丁寧にインタビューしているが、中でも年配者にしっかりとインタビューしていることで番組がいきいきとしている。
 - ・祭りのしめくくりで行われた内容に関する情報なども紹介していて、わかりやすかった。
 - ・番組を通して、地域文化が継承されていることを感じることもできた。
 - ・視聴者から募集した「とっておき写真コーナー」の写真が小さく残念だ。大きいサイズで見てみたいと感じた。
- 等のご意見をいただきました。

出席者は、徳永豊委員長、なかはらかぜ、西岡雅宵、金子功一、畑八郎の各委員、社側から杉田昌士代表取締役社長、矢田民也専務取締役、ほか放送制作部員5名でした。